

# 東環協ニュース

発行●東京都環境計量協議会

〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11  
ヒロキビル ヒロエンジニアリング(株)内  
TEL (03) 5812-4111  
FAX (03) 5812-4111  
MAIL [toukankyo@car.ocn.ne.jp](mailto:toukankyo@car.ocn.ne.jp)  
URL <http://www.toukankyo.org>

- ★ 第39回通常総会報告
  - ・第39回通常総会議事録
  - ・総会資料
- ★ 第39回通常総会後の懇親会報告
- ★ 平成28年度 新任者教育セミナー報告
- ★ 新役員の挨拶
- ★ 役員の役割分担
- ★ 関係機関・団体の動き
  - ・首都圏環境計量協議会連絡会
  - ・(一社)神奈川県環境計量協議会
  - ・(一社)埼玉県環境計量協議会
  - ・千葉県環境計量協会
  - ・(一社)日本環境測定分析協会
- ★ 東環協からのお知らせ
  - ・平成28年度第1回親睦ゴルフ大会報告
  - ・平成28年度これからの主要行事予定
  - ・事務局からのお知らせ

## 第 39 回通常総会報告

平成 28 年 5 月 13 日(金)、第 39 回通常総会が四谷のスクワール麹町 5 階「寿の間」で開催されました。正会員 28 社のご出席をいただき、29 社の委任状と合わせ定数を充足していることから、定刻の 16 時 30 分、竹田副会長が総会の成立を宣言しました。議長には佐藤会長が選出され、五十嵐副会長により昨年度の事業報告並びに収支決算報告、今年度の事業計画・予算案の説明が行われました。今年は役員改選期ですので第 5 号議案で次期役員承認が行われました。総会における各議案の審議は滞りなく進行し、17 時 40 分に無事終了致しました。詳細は議事録及び総会資料をご覧ください。

### 佐藤会長の挨拶



佐藤会長挨拶

ただ今、ご紹介頂きました会長を務めさせて頂いております(株)分析センターの佐藤でございます。総会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は GW 連休明けの大変お忙しいところ、本総会に多数ご出席頂きまして、誠に有難うございます。また、ご来賓と致しまして、一般社団法人日本環境測定分析協会関東支部長 津上昌平様にご臨席賜り、誠に有難うございます。

ご存知のように当協議会は、全国の県単組織の中でも最大の会員数を有する環境計量証明事業者の団体ではありますが、その大きな組織故に日頃から会員企業 1 社 1 社に寄り添ったサービス運営や、皆様が納得頂ける多彩な事業活動を展開しているかと問われれば、会長と致しまして十分とは言えない部分が多々あると感じ、常に反省しております。しかしながら、その一方で少数の役員執行部でありながら、先人の方々が残された有意義な事業活動につきましては、忠実に継承致していると自負もしております。後程、そうした事業活動の報告と収支決算につきまして十分に吟味頂きますよう、お願い申し上げます。

加えまして、昨年度の執行部活動と致しまして、本総会資料には記載しておりませんが、ダンプینگが進む東京都の競争入札案件に対しまして、東京都財務局と最低制限価格の導入につきまして折衝を始めたところでございます。また、昨年 11 月に開催しました第 27 回環境測定技術事例発表会では東京都計量検定所 検査課の清水係長にお越し頂き「環境計量証明事業者に対する立入検査状況について」ご講演を賜り、立入検査の要領や指摘事項の概要を解説頂く事で、会員各社が優良事業所となるためのポイントを指導頂いたところでございます。こうした東京都計量検定所との連携は今後ますます深める予定でございます。具体的には、現行の法規に基づく立入検査のみでなく、計量証明事業を営む上で技術的に本当に問題がないか、精度管理業務がしっかり実施されているか否かなどを見極めるため、立入検査時におけるチェック項目に関する意見交換を始めるところでありまして、そうした連携により適切な事業者と不適切な事業者との差別化

が進む事が、結果として価格の適正化に繋がるものと信じております。

さて、これより本通常総会におきまして、平成 27 年度の事業報告と収支決算報告ならびに平成 28 年度の事業計画案と収支予算案についてご審議頂きますと共に、さらに今年度は、役員改選期に当たりますので、役員改選についてもご審議を頂きます。来年度は当協議会の設立 40 周年を迎えますので、今回の改選役員が、その記念行事の任に当たる事になりますので、とりわけ皆様の活発なご意見、ご討議をお願いしたいと思います。誠に簡単ですが、開会のご挨拶とさせていただきます。



<通常総会風景>



<通常総会風景(監査報告)>

東京都環境計量協議会

平成28年度（第39回）通常総会

議 事 録

日 時 : 平成28年5月13日（金） 16:30～17:40  
場 所 : スクワール麹町（東京都千代田区麹町6-6）  
出席者 : 57社（うち委任状29社）

竹田副会長が16時30分、正会員総数72社中57社の出席があり、会則第12条により総会が成立することを宣言した。

総会を開催するに当たり、最初に佐藤会長が挨拶を行った。

会則第22条に従い、会長が議長となったが、議事に入る前に会長は議事録署名人として、ダイヤアクアソリューションズ（株）の磯部英之氏と（株）日本総合科学の大野寿実氏を指名し、両氏はこれを承諾した。

議 事

1. 第1号議案「平成27年度事業報告承認の件」及び第2号議案「平成27年度収支決算報告承認の件」について

五十嵐副会長が、配布された総会資料に基づき説明した。引き続き鈴木監事が、平成27年度決算書について詳細に監査した結果、収支状況を正しく示していると報告した。第1号議案及び第2号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

2. 第3号議案「平成28年度事業計画（案）審議の件」及び第4号議案「平成28年度収支予算（案）審議の件」について


五十嵐副会長が、配布された総会資料に基づき説明した後、第3号議案及び第4号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

3. 第5号議案「役員改選の件」について


佐藤議長より、本年度は役員改選の年にあたり、第5号議案について提示され、審議した結果、異議なく承認された。

以上で第39回通常総会の議事が終了し、17時40分、竹田副会長の閉会の言葉で閉会した。

以上

議 長 佐藤 隆 

議事録署名人 磯部 英之 

議事録署名人 大野 寿実 

平 成 2 8 年 度

第 3 9 回

総 会 資 料

平成28年5月13日（金）

東 京 都 環 境 計 量 協 議 会

## 総 会 次 第

1. 日 時 平成28年5月13日（金）  
午後4時30分
2. 場 所 スクワール麴町 5階「寿の間」
3. 総会の成立と開会宣言
4. 会長挨拶
5. 議長選出
6. 議事録署名人の選出
7. 議 案
  - 第1号議案 平成27年度 事業報告承認の件
  - 第2号議案 平成27年度 収支決算報告承認の件  
監査結果報告
  - 第3号議案 平成28年度 事業計画（案）審議の件
  - 第4号議案 平成28年度 収支予算（案）審議の件
  - 第5号議案 役員改選の件
8. 閉会の言葉

## 平成27年度事業報告

平成27年度は一部業界で業績回復が見られましたが、年明け早々には株価の大幅下落、日銀のマイナス金利導入等があり、また、東日本大震災から5年経った今、九州では熊本地震に見舞われるなど、極めて変化の激しい時を迎えています。

一方、測定・分析業界では分析単価の下落などにより収益が悪化、一部の企業では計量証明事業を廃止するなど取り巻く状況は一段と厳しさを増しています。

このような中、当協議会では「環境計量証明の測定・分析データの信頼性及び品質向上」、「分析技術者の技術向上」をスローガンとし、業界の更なる発展に寄与すべく、多くの会員企業が相互に、また会員企業が協賛企業とも交流が出来るよう日々努めて参りました。更に、東京都計量検定所ほか関係官庁からご指導・ご協力を仰ぐと共に、(一社)日本環境測定分析協会ならびに首都圏環境計量協議会連絡会、大阪環境測定分析事業者協会など関連団体との連携を図ってきました。「分析単価の適正化」に関する関連団体との情報交換、若手技術者を対象とした「新任者教育セミナー」の開催、「技術研修会」や「事例発表会」、「研修見学会」等を開催することで会員相互の交流と技術情報習得の一端を担ってきたものと考えております。以下、これらの活動について、詳細をご報告致します。

なお、平成28年3月31日現在の会員数は次の通りです。

\* 会員数 (平成28年3月31日現在)

正 会 員	72社 (入会1社、退会3社)
賛 助 会 員	14社 (入会2社)
合 計	86社

\* 役 員

会長 1名、副会長 2名、理事 6名、監事 2名、顧問 1名

### 1. 会議の開催

#### (1) 総 会

平成27年度(第38回)通常総会

日 時：平成27年5月12日(火) 16:30~17:40

場 所：スクワール麹町 (東京都千代田区麹町6-6)

出席者：58社 (うち委任状31社)

#### (2) 役員会

全体会議：5回開催

平成27年 5月12日、7月24-25日、10月6日、12月8日 及び

平成28年 3月10日

### (3) 部会会議

総務、技術、業務の3部会で、必要に応じて担当理事による会議を開催しました。

## 2. 事業活動

### (1) 新任者教育セミナー

当協議会では「環境計量に関する測定データの信頼性の向上」、また「安全・安心を提供できる技術者の育成」を目的として各種技術講習会等を企画しております。

新任者教育セミナーは、今年度も(一社)日本環境測定分析協会 関東支部との共催とし、従来からの千葉県環境計量協会、(一社)埼玉県環境計量協議会に加え、今回から(一社)神奈川県環境計量協議会も加わり、4県単合同開催となりました。参加者数は、東環協から24名、千環協から26名、埼環協16名、神環協15名の合計81名でした。

日 時：平成27年6月24日(水) 10:00～17:30

場 所：(一社)日本環境測定分析協会 2F研修室

内 容：

講義1 (10:45～12:00)

テーマ 「労働安全衛生について」

講 師 セフティレビュー 大山 喜彦 氏

講義2 (13:00～14:30)

テーマ 「環境計量の仕事とは」

講 師 (株)佐々木環境技術事務所  
代表取締役 佐々木 克典 氏

講義3 (14:45～16:15)

テーマ 「精度良い測定のために」

講 師 (学)早稲田大学 環境保全センター  
村井 幸男 氏

修了証授与式&名刺交換会 (16:15～17:30)

◇ 講義1では、例年通り労働安全衛生の基礎から測定業務における安全管理や労働安全衛生の進め方などについてお話がありました。受講者からは、職場の安全意識を高める上で非常に為になり、改めて「安全」についての意識が高まったとの感想が聞かれました。

◇ 講義2は、環境学の歴史から地球環境問題、また環境関連法規や計量証明事業登録制度、さらには国際規格や資格取得に至るまで幅広い内容でした。受講者からは環境計量証明事業に携わっていく者としての心構えや、分析を行う上での注意点が判り、今後仕事を行っていく上でとても参考になったとの感想が聞かれました。

◇ 講義3では、サンプリングの基礎から化学分析の基礎とデータの取り扱いに至るまでの講義がなされ、受講者からは分析結果の根幹がサンプリ



ングにあることを再認識したとの感想が聞かれました。

◇ 講義後の名刺交換会では、千環協、埼環協、神環協の参加者と共に、年齢、所属企業を越えて、それぞれ名刺を交わしつつ、仕事の情報交換をする光景が見られるなど、活気あふれる交流ができました。

## (2) 環境測定技術事例発表会

本年は特別講演①として東京都計量検定所 清水係長より「環境計量証明事業者に対する立入検査について」、特別講演②として(一社)日本環境測定分析協会 菅原技術部長により「精度の良い測定のために」というテーマでご講演頂きました。

また、今回の事例発表会は、材料中濃度関係1題、水質関係1題、騒音振動関係1題、放射線測定関係1題、その他ロボットによる秤量1題、また当協会の友好団体である大環協より1題を発表して頂き、内容も濃く質疑応答も活発に行われ充実した発表会となりました。

日 時：平成27年11月6日(金) 11:00～19:30

場 所：スクワール麹町

参加者：会員25社(52名)

## (3) 濃度、騒音・振動関係技術研修会

本年度の技術研修会は、1994年10月に設立された「全環境企業年金基金」についてのご案内と、今後のペーパーレス推進の流れが予想される「環境計量証明書の電子発行について」、及び都内中小企業への技術支援を行っている東京都立産業技術研究センターの「中小企業への技術支援における標準・規格」の2題について、ご講演頂きました。

日 時：平成28年1月26日(火) 14:00～17:15

場 所：スクワール麹町

参加者：会員26社39名、協賛企業1社2名

内 容：

第一部 (13:05～13:25)

演 題：「全環境企業年金基金」からのお願い

講 師：全国環境計量証明事業年金基金 常務理事 和泉信俊 氏

◇ 和泉氏からは、全環境企業年金基金の設立経緯や、企業年金のご案内や活用方法などをご紹介頂きました。

第二部 (13:35～15:40)

演 題：「環境計量証明書の電子発行について」

講 師：(一社)日本環境測定分析協会 会長 田中正廣 氏

◇ 田中会長からは、これまで書面のみで発行されていた計量証明書が、最近では電子成果物として電子納品することを求められるようになっていく現状を踏まえ、「計量証明書の電子発行について」というテーマでご講演頂きました。

第三部 (15:50～17:15)

演 題：「中小企業への技術支援における標準・規格」

講 師：(地独)東京都立産業技術研究センター 理事 原田 晃氏

◇ 原田氏には、中小企業への技術支援を行っている東京都立産業技術研究センターの概要や、具体的な支援事業についてご紹介頂きました。

#### (4) 新春賀詞交歓会

新春賀詞交換会を、以下の通り開催しました。

日 時：平成28年1月26日(火) 17:30～19:30

場 所：スクワール麹町 5F「芙蓉の間」

参加者：34社(82名)

◇ 冒頭、佐藤会長から新年のご挨拶、続いて、ご来賓として列席戴いた(一社)日本環境測定分析協会 会長の田中正廣様よりご挨拶を頂戴しました。その後、(一社)日本環境測定分析協会関東支部 支部長の津上昌平様による乾杯で、新春賀詞交歓会が開始されました。

◇ 歓談の途中では、協賛企業である関東化学(株)様、(株)島津製作所様よりご挨拶を頂戴致しました。

◇ 歓談後は恒例のビンゴ大会を行い、満面の笑みを浮かべ賞品を受け取る方々で大いに盛り上がりました。

#### (5) 東環協ニュースの発行(年3回)

第159号：平成27年 8月 5日

第160号：平成27年 11月30日

第161号：平成28年 2月29日

#### (6) 東環協メール情報サービス(17件)

メール情報提供をNo.240～No.256まで行いました。

#### (7) 研修見学会

昨年同様、本年度の研修見学会も、首都圏環境計量協議会連絡会の研修見学会として首都圏4県単での合同開催となりました。

開催日：平成27年9月11日(金)

場 所：「地球の丸く見える丘展望館」、「ヒゲタしょうゆ工場見学」

参加者：29名[うち、東環協会員10社(13名)]

行 程：千葉駅東口・出発 → 地球の丸く見える丘展望館・見学 → ヒゲタしょうゆ工場・見学 → 銚子ポートタワーにて昼食 → 千葉駅周辺にて懇親会、その後解散

- ◇当初は「洋上風車発電所&イルカウォッチング（スナメリ）」の予定でしたが、前日までの悪天候の影響で急遽予定を変更しました。
- ◇ 小雨降る中、千葉駅東口を出発し愛宕山へ。高台にある「地球の丸く見える丘展望館」から屏風ヶ浦などを眺めた後、ヒゲタしょうゆ工場に向かいました。工場は約400年の歴史があり、江戸時代から受け継がれているしょうゆの製造行程などを研修見学しました。
- ◇ 研修見学会も無事終了し、千葉駅周辺にて懇親会を行った後解散となりました。

(8) 首都圏環協連関連事業

首都圏環協連委員会：4回

平成27年 6月4日、9月2日、12月1日 及び 平成28年 2月23日

- ◇ 各県単の活動状況を報告し合い、当業界を取り巻く諸問題について意見交換しました。

(9) 技術交流事業

大阪環境測定分析事業者協会が主催する「環境測定技術事例発表会」は、(一社)日本環境測定分析協会の全国セミナーと時期が重なった為、今年度は中止となりました。このため、当協議会からの参加はありませんでした。

(10) 東京都計量検定所関連事業

「都民計量のひろば」

開催日：平成27年11月1日(日)

場 所：新宿駅西口イベント広場

主 催：都民計量のひろば実行委員会

構成団体：東京都計量検定所、(一社)東京都計量協会、東環協等18団体

- ◇ 平成27年度の「都民計量のひろば」のメインテーマは昨年度と同様「くらしと計量」、サブテーマは「知ってなっとく正しい計量」でした。
- ◇ 当協議会は例年通り「環境と計量コーナー」を担当し、騒音計、放射線測定器などの測定機器を中心に、(株)アップルツリー様にご協力を得て、太陽光発電の模擬展示も併せて出展しました。
- ◇ 今年も環境問題をテーマにしたクイズを行ったところ、日曜日にもかかわらず300名以上の方々にご参加頂きました。参加者には当会の正会員である(株)ヤクルト本社様より無償提供を頂いた、リサイクル品のオープナーをお渡し致しました。また、詳しい説明を求める方々も数多く見られました。

(11) 平成27年度親睦ゴルフ大会

第1回（通算第30回）

開催日：平成27年7月3日（金）

場所：ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎

\*スタート時にコース不良により中止になりました。

第2回（通算第31回） \* 首都圏合同開催

開催日：平成27年10月23日（金）

場所：キングフィールドズゴルフクラブ

参加者：20名[うち東環協会員8名]

(12) ホームページ

ホームページを刷新し、各種行事のご案内や東環協ニュースを掲載しています。また、環境省、経済産業省を始め、関係省庁等の情報を取りまとめ、毎月更新をしておりますので是非ご活用ください。

今後協賛企業、会員企業の参加も検討してまいります。

以 上

[第2号議案]

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします。





[第3号議案]

## 平成28年度 事業計画 (案)

### 1. 会議の開催

- (1) 総会 平成28年5月13日(金)
- (2) 役員会 6回程度(予定)

### 2. 事業活動

#### (1) 総務関係

- ① ニュースの発行 3回(予定)
- ② 会員名簿の発行 7月(予定)
- ③ 首都圏その他の連絡会議への参画 随時
- ④ ホームページの更新 原則、月1回
- ⑤ 各種資料の配付 随時

#### (2) 技術関係

- ① 新任者教育セミナー 6月(予定)
- ② 技術研修会 10月(予定)
- ③ 環境測定技術事例発表会 11月(予定)

#### (3) 業務関係

- ① 研修見学会及び新春賀詞交歓会
  - ・研修見学会 9月(予定)
  - ・新春賀詞交換会 平成29年1月(予定)
- ② 都民計量のひろば行事 11月1日(予定)
- ③ その他(各種親睦会等)
  - ・ゴルフ大会 6月、9月の2回(予定)
  - ・その他

#### (4) 官公庁その他に対する協力

- ① 東京都計量検定所が行う講習会への協力
- ② (一社)日本環境測定分析協会関東支部が行う行事への協力
- ③ その他

以上

[第4号議案]

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします。



[第5号議案]

今年度の役員構成

任期:平成28年5月総会后～平成30年5月総会まで

	役職	氏名	会社名
1	会長	佐藤 隆	(株) 分析センター
2	副会長	竹田 良平	ヒロエンジニアリング (株)
3	副会長	五十嵐 鋼	(株) 東京環境測定センター
4	理事	川東 光三	(株) トーニチコンサルタント
5	理事	田口 和男	(株) オオスミ
6	理事	斉藤 徹	(株) 環境管理センター
7	理事	志知 尚彦	帝人エコ・サイエンス (株)
8	理事	池田 達也	(株) 日本分析
9	理事	井上 和之	(株) 総合環境分析
10	新理事	古畑 大志	(株) 環境技研
11	新理事	金谷 真澄	環境リサーチ (株)
12	監事	鈴木 幹夫	いであ (株)
13	監事	中村 勉	(株) 環境技術研究所

東京都環境計量協議会 第39回通常総会 出席者名簿

来賓 (一社)日本環境測定分析協会 関東支部長 津上 昌平 氏

No.	会 社 名	出 席 者 名	備 考
1	いであ (株)		
2	エヌエス環境 (株)		
3	(株) オオスミ		
4	(株) 化学分析コンサルタント		
5	(株) 環境管理センター		
6	(株) 環境技研		
7	(株) 環境技術研究所		
8	(株) 環境総合テクノス		
10	環境リサーチ (株)		
11	(株) 産業分析センター		
12	(株) サンコー環境調査センター		
13	三立エンジニアリング (株)		
14	(株) 島津テクノリサーチ		
15	新日本環境調査 (株)		
16	(株) 総合環境分析		
18	ダイヤアクアソリューションズ (株)		
19	帝人エコ・サイエンス (株)		
20	(株) 東京環境測定センター		
21	(株) トーニチコンサルタント		
22	(株) 日新環境調査センター		
23	日本エコテック (株)		
24	(株) 日本公害管理センター		
25	(株) 日本シーシーエル		
26	(株) 日本総合科学		
27	(株) 日本分析		
28	ヒロエンジニアリング (株)		
30	(株) 分析センター		
33	リオンサービスセンター (株)		
35	東ソー (株)		賛助
37	ラボテック (株)		賛助

30社 37名

委任状

・(株)泉環境 ・(株)伊藤公害調査研究所 ・(株)エコプロ・リサーチ ・(株)環境技研 ・(株)環境総合リサーチ・共和化工(株) ・クボタ化水(株) ・(株)クレアテラ ・興亜開発 (株) ・(株)工生研 ・(一財)小林理学研究所 ・三葉化工(株)・(株)ジェイペック ・中央建鉄(株)・ドリコ(株) ・那須電機鉄工(株) ・日鉄鋳コンサルタント(株)・日本板硝子環境アメニティ(株) ・日本滌化化学(株)・(株)日本線路技術 ・日本物理探鑛(株)・芙蓉化学工業(株) ・前田道路(株) 東京支店・ムラタ計測器サービス(株) ・(株)メイシン ・森永エンジニアリング(株)・(株)ヤクルト本社 中央研究所 附属分析センター・八千代エンジニアリング (株) ・ユーロフィン日本環境 (株)

29社

## 第 39 回通常総会後の懇親会報告

総会終了後、恒例の懇親会が 18 時から、同じくスクワール麹町の 5 階「芙蓉の間」にて、会員企業 33 社 50 名、来賓 2 名の方々にご出席いただき、盛大に開催されました。来賓には（一社）日本環境測定分析協会 関東支部長 津上昌平氏、当協議会 顧問 三階貴男氏をお迎えしました。

司会は川東理事が務め、佐藤会長の挨拶に始まり、来賓として日環協津上関東支部長よりご祝辞をいただきました。三階顧問による乾杯の発声により懇親会が始まり、それぞれ歓談しながら楽しい時間を過ごすことが出来ました。

途中、今期、新しく理事に就任された古畑氏、金谷氏からの就任挨拶があった他、賛助会員の皆様の挨拶が行われました。

宴たけなわの中、五十嵐副会長の音頭による中締めで、懇親会が終了しました。



<佐藤会長 挨拶>



<三階顧問 乾杯>

## ご来賓の方の祝辞

（一社）日本環境測定分析協会 関東支部長 津上昌平氏



日環協関東支部長

ただいまご紹介いただきました、一般社団法人日本環境測定分析協会の関東支部長をしております津上と申します。本日は、第 39 回通常総会にお招きいただきまして有難うございます。総会もつつがなく終わられましたお喜び申し上げます。また、今回の役員改選に置かれましても、佐藤会長を始め今までの役員の再任に加え、新しく 2 名の方が参画されるとのことますますのご発展をお祈りしております。

日環協の活動に対して、平素より東環協の皆様には多大なご協力をいただき有難うございます。先ほどの事業報告にもありました、新任者教育セミナー、研修見学会など種々の催しにおきましては首都圏環協連を通し日環協も協力をさせてもらっております。また、佐藤会長の挨拶にもありましたが、日環協関東支部環境セミナーは、去年は神奈川が担当して横浜で開催されましたが、今年は茨城の担当で水戸において、7月21日、22日に開催いたしますので、皆様是非ご参加ください。お待ちしております。

日環協も5月23日に通常総会を予定しております。今年度は会長、執行部の変更はありませんが一部役員交代があります。また、新年度事業も動き出し、分析実務研修や技能試験、全国環境セミナーをはじめとした種々のセミナーが始まりますのでご協力よろしくをお願いします。

先ほど佐藤会長からお話がございましたが、東環協が全国一大きな県単組織として今後も活発に活動されるとの事を期待しておりますので、これからも日環協及び日環協関東支部の活動にもお力添えよろしくお願いいたします。簡単ではありますが挨拶とさせていただきます。



<懇親会風景>



<懇親会風景>



<五十嵐副会長 中締め>

東京都環境計量協議会第39回通常総会懇親会 出席者名簿

来賓 (一社) 日本環境測定分析協会 関東支部長 津上 昌平 氏  
 東京都環境計量協議会 顧問 三階 貴男 氏

No.	会社名	出席者名	備考
1	いであ (株)		
4	エヌエス環境 (株)		
5	(株) オオスミ		
7	(株) 化学分析コンサルタント		
8	(株) 環境管理センター		
9	(株) 環境技研		
10	(株) 環境技術研究所		
12	(株) 環境総合テクノス		
15	環境リサーチ (株)		
17	(株) 産業分析センター		
18	(株) 島津テクノリサーチ		
19	(株) サンコー環境調査センター		
20	新日本環境調査 (株)		
21	(株) 総合環境分析		
23	帝人エコ・サイエンス (株)		
24	(株) 東京環境測定センター		
27	(株) トーニチコンサルタント		
28	(株) 日新環境調査センター		
29	(株) 日本公害管理センター		
30	(株) 日本シーシーエル		
31	(株) 日本総合科学		
32	(株) 日本分析		
33	ヒロエンジニアリング (株)		
35	(株) 分析センター		
38	ユーロフィン日本環境 (株)		
39	リオンサービスセンター (株)		
41	(株) グレイス		賛助
43	(株) 東京科研		賛助
44	東ソー (株)		賛助
46	ビーエルテック (株)		賛助
47	松田産業 (株)		賛助
49	(株) ミカミ		賛助
50	ラボテック (株)		賛助

参加者総数 来賓 2名 会員 33社 50名 計 52名

## 平成 28 年度 新任者教育セミナー報告

当協議会では今年度も「環境計量測定データの信頼性の向上」を目的として各種技術講習会等を企画してまいりますが、その一環として昨年に引き続き日環協関東支部との共催で、新任者や若手分析技術者を対象とした『新任者教育セミナー』を開催いたしました。第9回目の開催となる今年度も一都三県の合同開催となり、ほぼ満席の69名（東環協：15名、千環協：23名、埼環協：13名、神環協18名）と多くの方にご参加いただきました。

日 時 : 平成 28 年 6 月 22 日 (水) 10:00~17:30

場 所 : (一社)日本環境測定分析協会 2階研修室

講義 1 「労働安全衛生について」 (10:45~12:00)

講 師 : セフティレビュー 大山 喜彦 氏



### 〔講義目次〕

1. 労働災害発生状況
2. 労働安全衛生法とは
3. 安全衛生管理体制
4. 災害発生の仕組みと災害原因
5. ハインリッヒの1:29:300の法則
6. 労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）とリスクアセスメント
7. 化学物質管理のリスクアセスメント
8. 危険予知訓練と指差呼称

### 〔講義概要〕

労働災害の発生件数は年々減少しているが、重大事故はやや増加の傾向にある。労働安全衛生法は、職場での事故、健康被害を予防するためにある。近年では平成18年、26年に改正が有り、メンタルヘルス対策としてのストレスチェックや今年6月から施行された化学物質に対するリスクアセスメントの義務化が定められた。また、労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）導入の背景、必要性が説明された。また、化学物質管理のリスクアセスメントの実施方法、ヒヤリ・ハット運動やKYT（危険予知訓練）による事故・災害防止の方法、作業リスクの考え方について説明があった。

## 講義2 「環境計量の仕事とは」 (13:00~14:30)

講師：(一社)日本環境測定分析協会 関東支部長 津上昌平 氏



### 〔講義目次〕

1. 環境とは、環境学について
2. 環境問題への取組みの歴史
3. 地球環境問題
4. 環境関連法規
5. 計量法と事業登録制度
6. 国際規格
7. 資格取得

### 〔講義概要〕

「環境」という言葉の意味するところは、自然環境から社会環境まで幅広い。環境問題は公害問題から地球環境問題をへて環境経済（環境保全と経済発展の両立）に変遷している。環境関連法規は、環境基本法を中心に水、大気、土壌、騒音・振動、リサイクル等多岐にわたる法律で形成されている。また、国際的法規とも連携し、有害物の規制とともに、生物の保全についても取り決めがされている。

計量法や私たちが行っている環境計量証明事業や作業環境測定等の環境測定・分析に関わる事業登録について説明がなされた。他にISO等の国際規格があり社会のグローバル化と共に必要性が増している。環境測定に必要な資格としては、環境計量士をはじめ臭気判定士、環境測定分析士等有り、資格取得に挑戦してもらいたい。

## 講義3 「精度良い測定のために」 (14:45~16:15)

講師：(株)佐々木環境技術事務所 代表取締役 佐々木克典 氏



### 〔講義目次〕

1. サンプルングの基礎
2. 環境測定に関する化学分析の基礎
3. データの取り扱い

### 〔講義概要〕

環境測定においては、サンプルングが重要であり、いかに精度良い分析を行なってもサンプルングに誤差があつては、正しい測定結果は得られない。調査の目的を明確にして目的に合ったサンプルングを計画し行う必要がある。

環境測定に関する化学分析の基礎については、精度管理が重要であり、測定環境からの汚染(コンタミネーション)の防止、使用器具の正しい操作、試薬、標準液の管理が大切である。また、試験に使用する水も J I S で規定されており、目的に応じたグレードの水を使う必要がある。測定結果は種々の誤差を含む。分析値の不確かさの要因を確認しておく必要がある。また、近年の技能試験等の統計処理では z スコアが用いられており、自分の測定結果の精度を確認できる。

#### アンケート結果 (抜粋)

年 齢 : 10・20代 87%、30代 10%、40代 3%、50代以上 0%

性 別 : 男 61%、女 39%

入社年数 : 1年未満 71%、1~3年 22%、3~5年 3%、5年以上 3%、未回答 1%

分析・測定分野 : 大気、水質、底質、土壌、産業廃棄物、臭気・悪臭、騒音・振動、作業環境、シックハウス、ダイオキシン類、絶縁油、農薬、アスベスト、金属、食品、放射能・放射線、その他

講義内容については、3題とも「大変参考になった」「参考になった」が90%以上でした。



〔名刺交換会〕

セミナー終了後、東環協、千環協、埼環協、神環協にそれぞれ分かれて、修了証の授与式が行われました。授与式の後、5階の懇親会会場で、名刺交換会を行いました。入社間もない参加者にとっては名刺交換の練習という面もあり、活発にディスカッションを行っていました。限られた時間内での講義で質問時間も限りあり、名刺交換会では講師の方に積極的に質問する参加者の姿も見受けられ、お互い話題にも事欠かず一時間と短い時間では物足りないようでした。

また、今回も参加者の皆さんにはアンケートをお願いしました。講義についての感想は、講師の方々にフィードバックするとともに、その一部は上記、記事に掲載いたしました。参加者の方の貴重なご意見・ご要望については、今後の東環協の運営に反映させていただきます。



<受講風景>



<修了証授与式>



<名刺交換会 (1) >



<名刺交換会 (2) >

## 平成28年 新任者教育セミナー 参加者名簿

平成28年6月22日（水）

於 （一社）日本環境測定分析協会 研修室

### 講 師

セフティレビュー

大山 喜彦 氏

（一社）日本環境測定分析協会 関東支部長

津上 昌平 氏

（株）佐々木環境技術事務所

佐々木 克典 氏

No.	会 社 名	氏 名	備 考
1	いであ(株)		
2	(株)化学分析コンサルタント		
3	(株)環境技研		
4	(株)環境技術研究所		
5	環境リサーチ(株)		
6	環境リサーチ(株)		
7	(株)総合環境分析		
8	(株)総合環境分析		
9	帝人エコ・サイエンス(株)		
10	帝人エコ・サイエンス(株)		
11	(株)日本分析		
12	(株)日本分析		
13	(株)分析センター		
14	(株)分析センター		
15	(株)分析センター		

9社 15名

## 新役員の挨拶

平成 28 年度の総会において役員の変更があり、これまで役員を務められた方々に加え、古畑氏、金谷氏の 2 名の方が新たに役員として承認されました。

- ・理事 : 古畑 大志 株式会社 環境技研
- ・理事 : 金谷 真澄 環境リサーチ株式会社

新しく役員になりました各氏に、今後の抱負を含めご挨拶をいただきました。

### 古畑 大志 理事 [(株)環境技研]



古畑理事

この度、5月の定例総会におきまして、理事に選任されました株式会社 環境技研の古畑大志でございます。伝統ある東京都環境計量協議会の理事という大役を拝命致し、ひしひしと責任の重さを感じております。好きな言葉は「至誠にして動かさざる者は、未だ之あらざるなり」(誠を尽くして人に接すれば、心を動かさないものはこの世にいない)です。

この言葉に負けぬよう微力ながら東京都環境計量協議会の運営、発展に寄与したいと思いますので、役員・会員皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

### 金谷 真澄 理事 [環境リサーチ (株)]



金谷理事

この度、第 39 回通常総会にて新しく役員に選任されました環境リサーチ株式会社の金谷真澄でございます。当社は平成元年の創業以来、アスベストを主体に室内・屋外の環境分析や建物調査を行ってまいりました。そのため水質、大気、土壌、廃棄物、地下水等のいわゆる環境媒体の分析・調査についての割合が低く、東環協に加盟していてもなかなか活動に参加することがありませんでした。しかしながら、今後は環境の総合コンサルタントを目指し多様な業務に対応するべく社員一同励んでおりますので、皆様方と共に切磋琢磨して成長してゆきたいと思っております。

個人的には 30 年超を環境測定分析業界に勤め、一般社団法人日本環境測定分析協会の委員も 10 年以上努めてまいりました。この度の理事という大役に会員皆様のご期待にどこまで答えられるか判りませんが、精一杯努めさせて頂きたいと思っておりますので、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

## 役員役割分担

平成 28 年度は、下記のような役員役割分担で事業を進めて参ります。

	佐藤	竹田	五十嵐	川東	田口	斉藤	志知	井上	池田	金谷	古畑	鈴木	中村
役員会議事録							○	◎			○		
ホームページ管理			○					○	◎	○			
資料作成管理		○	○										
会員名簿管理		◎											
首都圏連絡委員会	◎	○				○							○
東環協ニュース				◎					○	○	○	○	
官庁関係挨拶等	◎	○	○										
新任者教育セミナー	○	◎	○						○				
日環協関東支部セミナー	◎	○	○										
研修見学会					○	◎			○		○		
大環協事例発表会	◎		○										
技術研修会	○		◎			○	○	○	○	○		○	
事例発表会	○		◎			○	○	○	○	○		○	
都民計量のひろば		○			○		◎				○		○
懇親会（ゴルフ、その他）		○			◎								○
新春懇親会	○	◎	○										
総会	○	◎	○										
会計監査	○	○	○									◎	○
役員会招集	○	◎	○										
40周年	式典準備会	○	◎			○	○			○		○	
	記念誌準備会	○		◎	○		○	○	○		○		○
事務局		◎											

◎ 主担当    ○ 担当

## 関係機関・団体の動き

平成 28 年 6 月現在で、既に参加または今後予定されている関係機関及び団体の動きは、以下のとおりです。

- 首都圏環境計量協議会連絡会
  - ・ 第 1 回委員会 6 月 7 日 (株)分析センター
  - ・ 第 2 回委員会 9 月 6 日 (株)分析センター
  
- (一社)神奈川県環境計量協議会
  - ・ 第 41 回通常総会 5 月 27 日 かながわ労働プラザ
  - ・ 親睦会 6 月 3 日 ニュー南総ゴルフ倶楽部
  - ・ 第 40 回環境研究合同発表会 6 月 15 日 横浜市技能文化会館
  - ・ 新任者教育セミナー (日環協共催) 6 月 22 日 (一社)日本環境測定分析協会
  - ・ 県内環境計量実習研修会 6 月 22 日 神奈川県環境科学センター
  - ・ 40 周年記念式典 7 月 1 日 かながわ労働プラザ
  - ・ 親睦地曳網大会 7 月 16 日 辻堂海岸
  
- (一社)埼玉県環境計量協議会
  - ・ 第 40 回通常総会 5 月 27 日 大宮サンパレス
  - ・ 新任者教育セミナー (日環協共催) 6 月 22 日 (一社)日本環境測定分析協会
  
- 千葉県環境計量協会
  - ・ 通常総会 4 月 19 日 プラザ菜の花
  - ・ 新任者教育セミナー (日環協共催) 6 月 22 日 (一社)日本環境測定分析協会
  - ・ 40 周年記念行事 7 月 15 日 プラザ菜の花
  
- (一社)日本環境測定分析協会
  - ・ 通常社員総会 5 月 23 日 タワーホール船堀
  - ・ 第 27 回日環協・関東支部環境セミナー in Mito 7 月 21 日・22 日 ホテルレイクビュー水戸
  - ・ 第 24 回日環協・環境セミナー 全国大会 in 岐阜 by 長良川 10 月 6 日・7 日 長良川国際会議場

## 東環協からのお知らせ

### ○平成 28 年度第 1 回（通算第 32 回）親睦ゴルフ大会報告

6 月 17 日（金）龍ヶ崎市のザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎にて親睦ゴルフ大会を開催いたしました。雨が予想され昨年の二の舞になるかと心配しておりましたが、そんなことは全く関係のない晴天に恵まれ、参加者やOBの方を含め 16 名元気にスタートしました。



昨年は全員ゴルフ場ご集合頂きましたが雨が激しく中止。今回は昨年のリベンジという事で同じゴルフ場で開催しました。過去に数回開催したコースで、フェアウエーも広くアップダウンの少ない林間コースでしたので、日頃の練習の成果（？）を思う存分発揮できたかと思えます。表彰式を兼ねたパーティーでは、ドラコンニアピンの発表の度に歓声があがっていました。最後に優勝者が発表されましたが、某社のOBの方の優勝と相成りました。

日頃お会いできないOBの方々とも久しぶりにお会いでき昔話に盛り上がっていました。

秋は首都圏合同での開催になります。県別対抗もありますので腕に自信のある方ない方問いませんので大勢の方をお待ちしております。

### ○平成 28 年度これからの主要行事予定

- |                         |               |
|-------------------------|---------------|
| ・第 2 回（通算第 33 回）親睦ゴルフ大会 | 10 月 28 日（金）  |
| ・都民計量のひろば               | 11 月 1 日（日）   |
| ・研修見学会                  | 11 月 4 日（金）   |
| ・環境測定技術事例発表会            | 11 月 16 日（水）  |
| ・技術研修会                  | 平成 29 年 1 月予定 |
| ・賀詞交歓会                  | 平成 29 年 1 月予定 |

○事務局からのお知らせ

・会員の動き

入会された会員

会員区分：賛助会員

会員名：東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部

代表者：GL 小林 昭

連絡担当者：営業部 伊藤 圭亮

TEL：03-5427-5180 ， FAX：03-5427-5220

現在の会員数（平成27年6月末現在）

正会員 71社

賛助会員 15社 合計 86社

・編集後記

遅くなりましたが、第39回通常総会と懇親会、新任者教育セミナーを中心に編集した、平成28年度の最初の「東環協ニュース」第162号を発行いたしました。

今年度も東環協の情報発信のために編集担当者として微力ながら尽力していきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

役員一同の協力もあり「東環協ニュース」第162号が無事に完成しましたので皆様にお届けいたします。今後も会員の皆様のご協力を得ながらより良いものにしたいと思っております。「東環協ニュース」に関するご意見、ご感想等がありましたら、事務局、役員まで気軽にご連絡ください。宜しく願い申し上げます。

アジレントのICP-MSは、さらに1桁上を行きます。



## Agilent 7900 ICP-MS

アジレントは7900でICP-MSの究極を追及しました。



### パワフルな性能

- 10倍向上したS/N比：バックグラウンドの低減および感度向上により、超微量レベルの分析が可能
- 10倍向上したマトリクス耐性：25%の飽和食塩水でもルーチン分析が可能
- 10倍広くなったダイナミックレンジ



### ラボの生産性が向上

- ダイナミックレンジが広がったことにより、微量元素から%レベルまで一度の分析で分析可能
- UHMIにより、高いマトリクス試料の導入が可能
- ISISにより、さらにサンプル切り替え時間を短縮可能
- メンテナンス頻度の低減



### パワフルでシンプルなソフトウェア

- ICP-MS MassHunterは、初心者にわかりやすく、かつ研究者が必要とする、多様な機能が搭載
- シンプルで直観的なユーザーインターフェースが、分析をステップごとにナビゲーション
- 独自のメソッドセットアップウィザードが、自動でメソッドを作成
- ICP-MSを、スマートフォンからモニターおよびコントロールすることが可能になり、フレキシビリティが向上

カスタムコンタクトセンタ 0120-477-111  
[www.agilent.com/chem/jp](http://www.agilent.com/chem/jp)

アジレント・テクノロジー株式会社 本社 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1  
TEL.0120-477-111/FAX.0120-565-154 ©Agilent Technologies, Inc. 2016





# 環境工学研究所



環境研究室

所長 星山 貫一

〒192-0354

東京都八王子市松が谷11-3-301

電話 042-675-0275

Eメール: [YFA79976@nifty.com](mailto:YFA79976@nifty.com)



## <活動理念>

★総勢5名のコンパクトな研究所ですが多くの環境問題に対して真摯に向き合って解決することを活動理念にしています。

## <加入団体>

- ①日本環境測定分析協会(賛助会員)
- ②東京都環境計量協議会(賛助会員)
- ③日本アイソトープ協会(個人正会員)

## <資格取得者>

工学修士 1名	環境計量士(濃度) 1名
工学士 2名	環境計量士(騒音・振動) 1名
公害防止管理者(大気1種) 1名	公害防止管理者(水質1種) 1名
公害防止管理者(ダイオキシン類) 1名	公害防止管理者(水質4種) 1名
放射線取扱主任者 2名	環境カウンセラー(事業所) 1名
危険物取扱主任者(乙4類) 2名	エコ検定 1名
第一種衛生管理者 1名	下水道技術検定(第3種) 1名
RCCM(建設環境)<国土交通省認定資格> 1名	
環境測定分析功労賞(日本環境測定分析協会) 1名	

## <最近発表した技術論文>

- ①平成28年4月号「あべのハルカスの環境保全(大阪)」  
(2016年) (一社)日本環境測定分析協会<環境と測定技術>
- ②平成28年6月号「新ダイビルの環境保全(大阪)」  
(2016年) (株)産業用水調査会<用水と廃水>
- ③平成28年7月号「秋葉原クロスフィールドの環境保全(東京)」  
(2016年) (株)環境新聞社<月刊・下水道>

おかげさまで**20**年

## 環境ビジネスの求人・転職



人材派遣・人材紹介・求人サイト・新卒採用で  
企業と働く人のマッチングに努めています。  
環境関連の人材ならグレイスにお任せください。

環境関連求人サイト  
**環境ジョブ.net**

環境ジョブ

検索

2016年9月、「環境 job.net」は生まれ変わります！



優良派遣事業者認定取得  
職業紹介優良事業者認定取得



お問合せは ☎ **0120-700-871**

## 株式会社グレイス

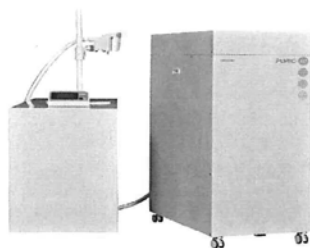
人材派遣 厚生労働大臣許可(派)13-010461  
人材紹介 厚生労働大臣許可 13-ユ-010593

本社 〒1102-0083 東京都千代田区麹町5丁目4番セタニビル5F  
TEL.03-3263-0871 FAX.03-3263-0872 E-mail:info@grace-e.co.jp  
関西支社 〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-13北浜平和ビル  
TEL.06-6223-1961 FAX.06-6223-1965 E-mail:kansai@grace-e.co.jp

# TK 株式会社 東京 科 研

～ ラボ用超純水製造装置のご紹介と当社取扱製品 ～

## 1. オルガノ製ラボ用超純水製造装置



キャビネットタイプ超純水装置  
ピューリック ω (オメガ) シリーズ  
比抵抗18.2MΩ・cmはもちろん  
TOC≤1ppb、シリカ≤0.1ppb  
ホウ素≤10ppt  
水道直結型でタンクも内蔵

デスクトップタイプ純水・超純水装置  
PURELAB Chorusシリーズ  
Chorus1：超純水製造装置  
Chorus2：前処理純水製造装置  
Chorus3：前処理RO水製造装置

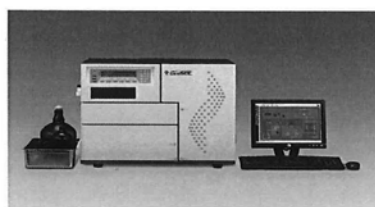
デスクトップタイプ純水・超純水装置  
PURELAB Flex-UV  
比抵抗18.2MΩ・cmはもちろん  
TOC≤5ppb  
酸化UVランプを標準搭載

## 2. 東ソー製液体クロマトグラフィーシステム



- 測定時間5分のハイスループット分析を実現
- 150～200検体の連続多検体処理に対応

イオンクロマトグラフィーシステム IC2010



- 信頼性の高いデータ、安定したベースライン、高い再現性が得られます

高速GPC装置 HLC8320GPC

## 3. エルメックス製食品衛生検査機器



- 空気圧送方式採用
- 2種類の分注(自動希釈、定量分注)モードが可能
- データ出力が可能

自動秤量分注装置 DT cube



- 独自の破碎パドルで破碎力UP
- ホモジナイズ時間が従来品の半分に短縮
- ステンレス製のドアは水洗い出来るサニタリー設計

ホモジナイザー SH-11M

TK オルガノ代理店  
株式会社 東京 科 研

www.tokyokaken.co.jp  
〒113-0034 東京都 文京区 湯島 3-20-9

担当：機器営業部 豊嶋 [toyosima-k@tokyokaken.co.jp](mailto:toyosima-k@tokyokaken.co.jp)

【機器営業部】 TEL：03-5688-7401  
【神奈川営業所】 TEL：045-361-5826  
【千葉営業所】 TEL：043-263-5431  
【つくば営業所】 TEL：029-856-7722  
【西東京営業所】 TEL：04-2951-3605

煩雑で面倒な試薬管理の手間、軽減できます！

# 試薬管理システム **SimpReag**

1

試薬の発注、入庫から廃棄までをトータルでサポート。



2

消防法やPRTR制度などの各種法規制に準拠。  
集計もおまかせ！



## SimpReagの特長

3



バーコードや周辺機器連携でスムーズかつスピーディな操作を実現。

4



QRコード等を活用した他システム連携で楽々入庫。

SimpReag を活用することで、例えばこんなことが可能です。

- バーコードやハンディターミナルの活用で、棚卸作業の時間と手間を大幅に削減。修正、集計結果の出力も楽々。
- 入庫時の薬品情報入力の手間が省け、さらに情報の一元化を実現。
- 持出・返却等の履歴が自動で記録されるため、試薬ビンが行方不明になるのを防ぐ。
- 在庫情報がタイムリーに確認できるので、無駄な発注、在庫を削減。

価格や機能等製品の詳細をご希望の方は下記お問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。

お問い合わせはこちら！

**NCS**

日本コントロールシステム(株)

<http://www.nippon-control-system.co.jp>

新横浜事業所 ライフサイエンスユニット

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-9

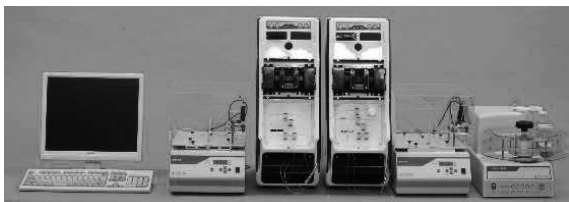
(TEL)045-477-5800

(FAX)045-477-5811

# ビーエルテックの自動化学分析装置

## BLTEC 新型オートアナライザー「SYNCA」 ふっ素 シアン フェノール類 全窒素 全りん

- 1 新開発の光学系により測定レンジが広がりました。
- 2 デテクターの向上(24ビット)によりデータ量が多く取り出すことができます。
- 3 ふっ素、シアン、フェノール類の蒸留、発色操作も自動で行えます。
- 4 全窒素全りんのオートクレーブ分解、発色操作も自動で行えます。
- 5 自動洗浄装置装着時、自動プラテンリリースできます。
- 6 国内生産です。
- 7 JISK0102対応メソッドです。1時間20検体測定ができます。
- 8 原理は、気泡分節型連続流れ分析法(CFA)で計量証明機関で多くの実績があります。



SYNCA - ふっ素シアン



SYNCA - 全窒素全りん

2013年9月20日に  
流れ分析水質試験方法(JISK0170)  
が工場排水試験法(JISK0102)に  
収載されました。

2014年3月20日に環境省告示に  
流れ分析法が追加されました。

JIK0102	項目名	JIK0102	項目名
28.1.3	フェノール類	43.1.3 43.2.6	亜硝酸イオン 硝酸イオン
30.1.4	陰イオン界面活性剤	45.6	全窒素
34.4	ふっ素化合物	46.1.4 46.3.4	りん化合物 全りん
38.5	シアン化合物	65.2.6	クロム(VI)
42.6	アンモニウムイオン		

### 全自動酸化分解前処理装置

#### DEENA

##### 特長

1. 試薬を自動で導入できます。
2. 自動で加熱をします。
3. 内部標準も入れられます(オプション)
4. メスアップも自動で行います。



DEENA60  
(50mlバイアル 60本掛け)



DEENAm  
(50mlバイアル 30本掛け)



ビーエルテック株式会社 <http://www.bl-tec.co.jp>

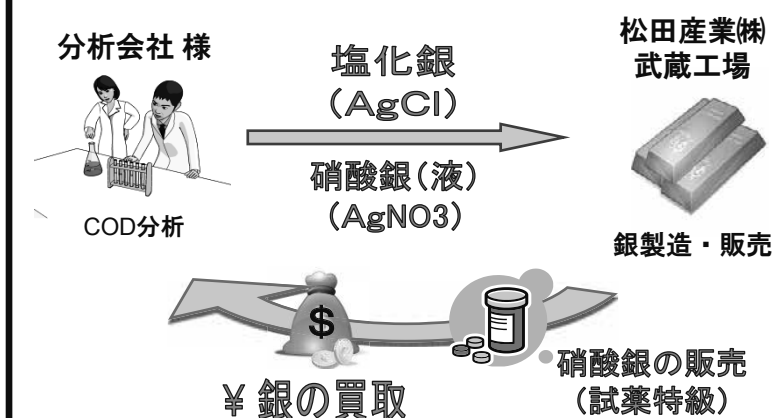
本社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-25-7 江戸堀ヤタニビル2F  
TEL:06-6445-2332 FAX:06-6445-2437

東京本社 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 マツモトビル4F  
TEL:03-5847-0252 FAX:03-5847-0255

九州支店 〒811-3311 福津市宮司浜1-16-10-101  
TEL:0940-52-7770 ※FAXは本社へ

# 塩化銀・分析廃棄物のことなら、 松田産業にお任せ下さい！！

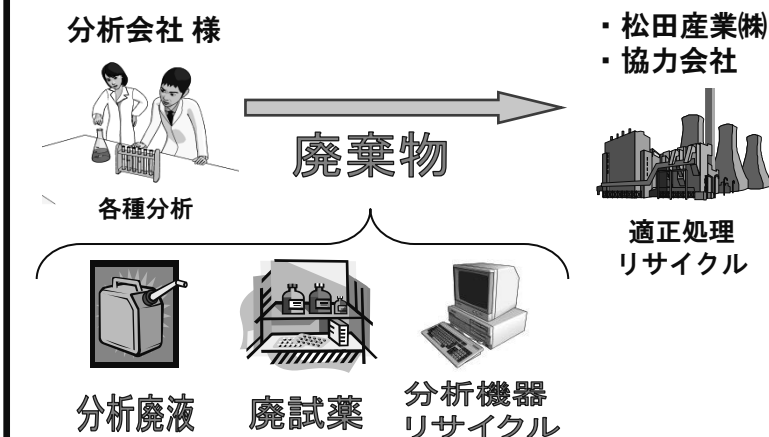
## 1. 塩化銀(COD分析)の買取



### ★弊社への委託のメリット★

- 銀量、銀相場に応じた買取
- 液状の硝酸銀でも買取可
- 硝酸銀試薬の販売 (塩化銀との相殺OK)
- 少量からでも買取可(1kg~)
- 全国対応可能

## 2. 各種分析工程より発生する廃棄物の適正処理



### ★弊社への委託のメリット★

- 廃棄物の適正処理・リサイクル
- 小口廃棄物の対応可 (少量でも低コスト提案可)
- 全国対応可能 (全国の産廃収運許認可を保有)
- 廃棄物の総合コンサルティング (廃棄物でお困りの際は何でも相談下さい)

## 松田産業株式会社 アーバンリサイクル営業部

<本社> 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号新宿野村ビル6F TEL03-5909-5101

<拠点>

仙台営業所

TEL022-236-3125

名古屋営業所

TEL0562-95-2111

埼玉営業所

TEL04-2900-0131

大阪営業所

TEL06-6475-3301

東京営業所

TEL03-3993-3301

福岡営業所

TEL092-631-1531

神奈川営業所

TEL046-246-2095

# アプリケーション超純水 Milli-Q® Integral

選ばれてラボでの  
超純水装置シェア  
70%以上!



すべての用途に  
Milli-Q Integral 1 台で対応可能です

各種機器分析

機器分析タイプ



Millipak

HPLC・LC/MS

LC タイプ



LC-Pak Millipak

環境ホルモン・VOC分析

環境分析タイプ



EDS-Pak Millipak

ICP-MS 分析・半導体洗浄

微量元素分析タイプ



Q-POD Element

細胞培養・遺伝子操作

バイオタイプ



BioPak

タンパク解析

プロテオームタイプ



BioPak Millipak

## メルク株式会社

ライフサイエンス ラボラトリーウォーター事業部

〒153-8927 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー5F

製品の最新情報はこちら [www.merckmillipore.jp/LW](http://www.merckmillipore.jp/LW)

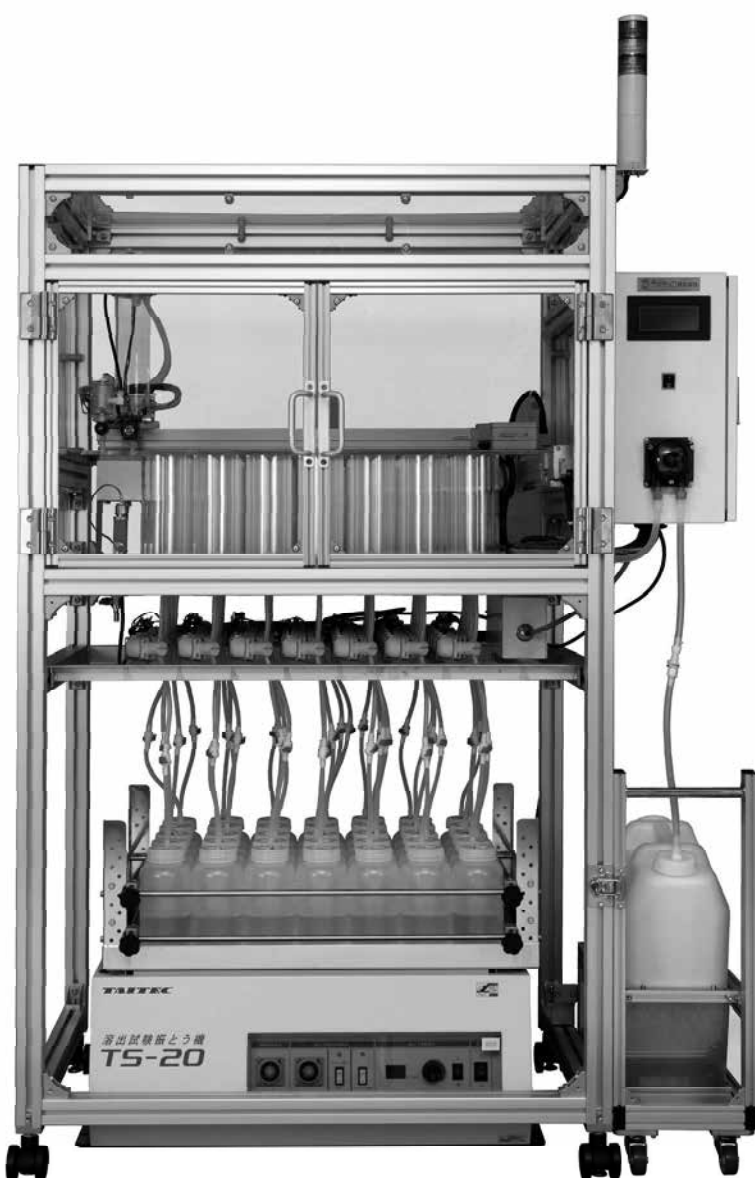
お問合せ▶On-Line:[www.merckmillipore.jp/jpts](http://www.merckmillipore.jp/jpts) Tel: 0120-013-148 Fax: 03-5434-4875

Merck Millipore is a business of



# 自動注水振とう装置

## AI-35



### ◆特徴◆

- 工程法に基づいた純水注入、6時間振とうまでの一連作業を完全自動化
- 夜間、休日を利用したスケジュール振とうが可能
- 弊社独自開発の水栓センサーにより注入量を高精度検出

### ◆概要◆

環境庁告示（公定法）では、土壌溶出試験では6時間振とうが揚げられています。本装置は指定した任意の曜日、時刻に振とうを終了するように純水を自動注水及び振とうをおこないます。


### ◆標準仕様◆

#### 作動部

計量槽容量	500ml
純水計量方法	定容器による計量
最大試料数	35検体
計量部動作方法	XY方向の2軸制御
採水採取方法	チューピングポンプによる採取
純水タンク容量	20L
最大予約待機時間	1週間

#### 制御およびその他

制御	シーケンス制御
情報入力	タッチパネル
電源	AC100V 10A
外形寸法	W1240×D750×H1700（表示灯含まず）
重量	約140kg（振とう機含まず）

 **0120-215532**  
FreeDial

●受付時間：土、日、祝日を除く9時～17時通話料は無料です。

広島県広島市佐伯区五日市中央4-15-48  
TEL 082(921)8840 FAX 082(921)2226  
URL <http://www.labotec.co.jp>

# LABOTEC